

【集計結果】

「液化石油ガス事故の防止に係わるアンケート調査」

令和8年3月

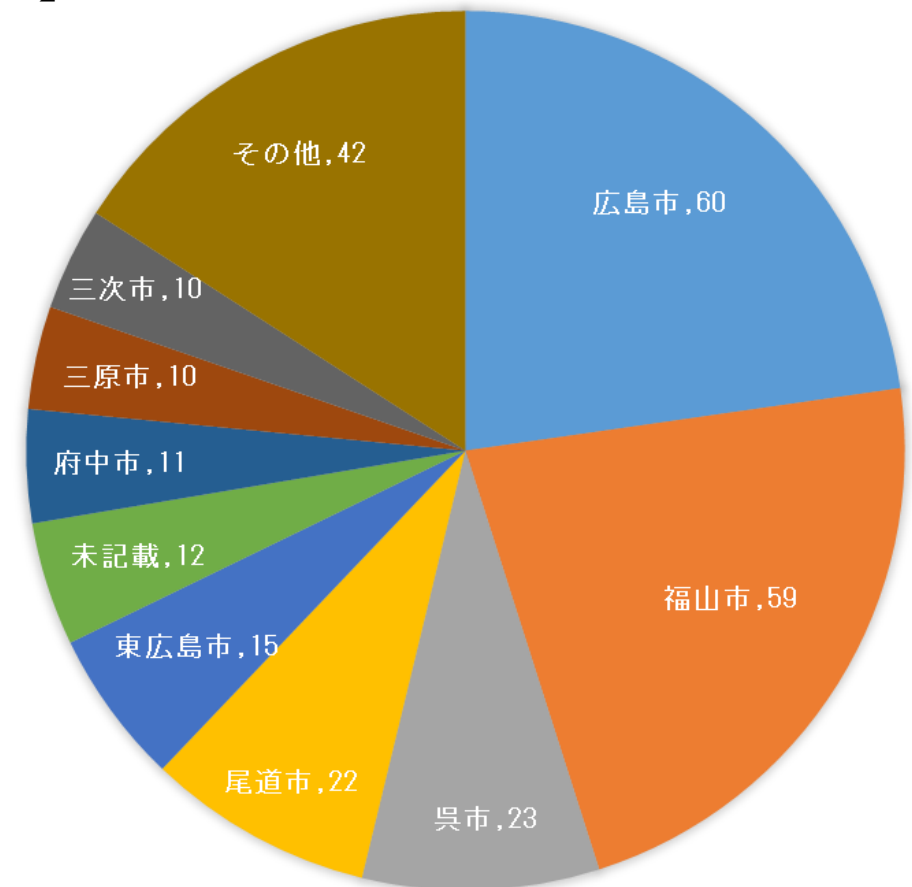
広島県 危機管理監 消防保安課

回答者内訳

【地区別】

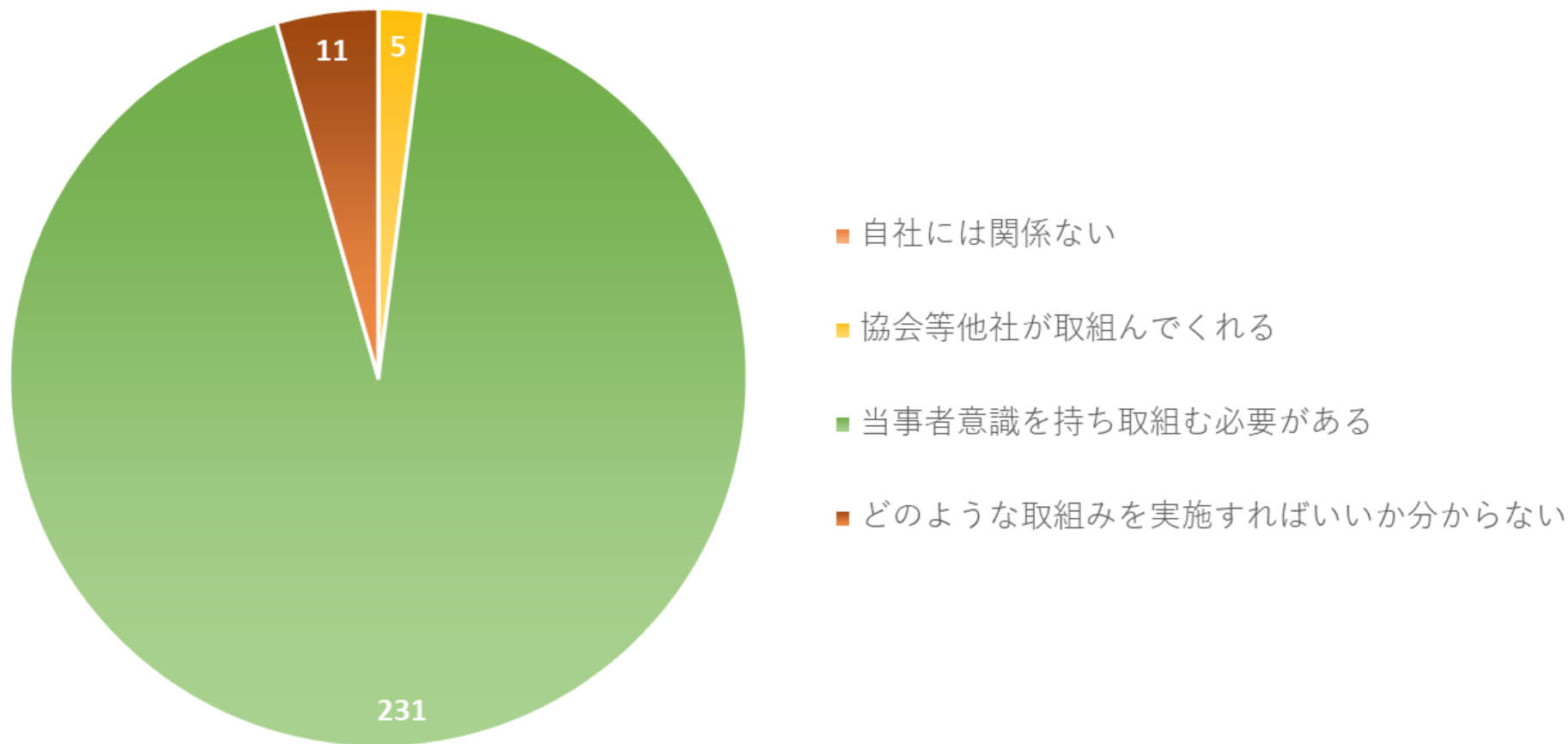
	参加数	回答数	割合
広島地区	81	71人	87.7%
福山地区	68	60人	88.2%
尾道地区	58	52人	89.7%
呉地区	54	43人	79.6%
三次地区	48	38人	79.2%
合計	309	264人	85.4%

【市町別】



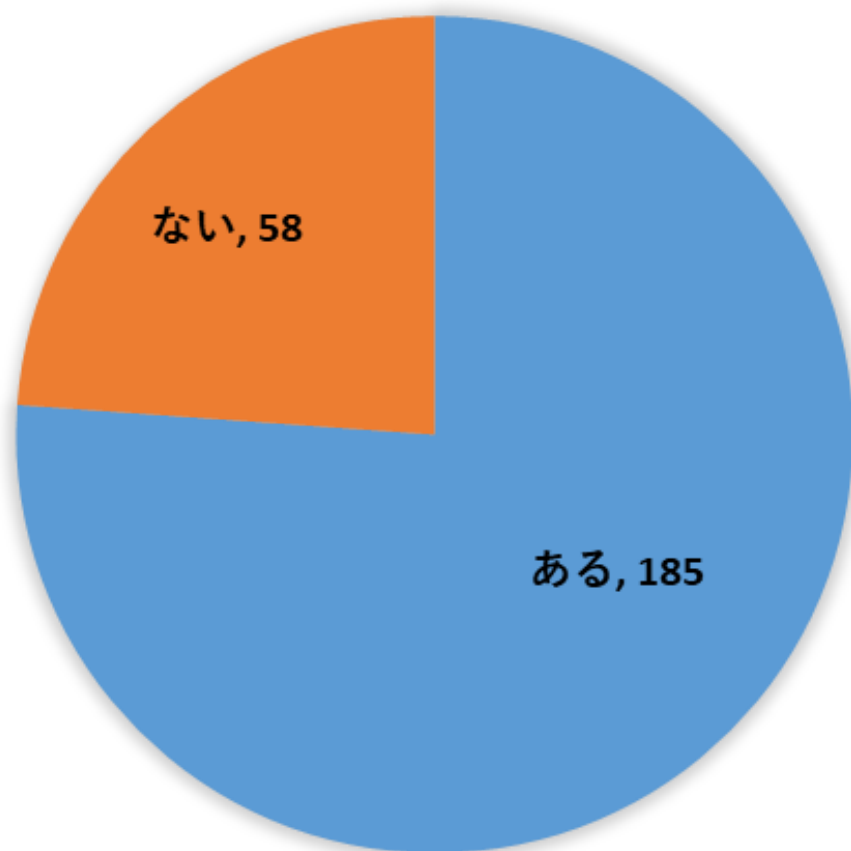
【問 1】

講習中に説明した事故概要や防止対策の内容についてどう思いましたか



【問 2】

日々の作業中、事故防止（再発防止含む）のために実施している
ことはありますか

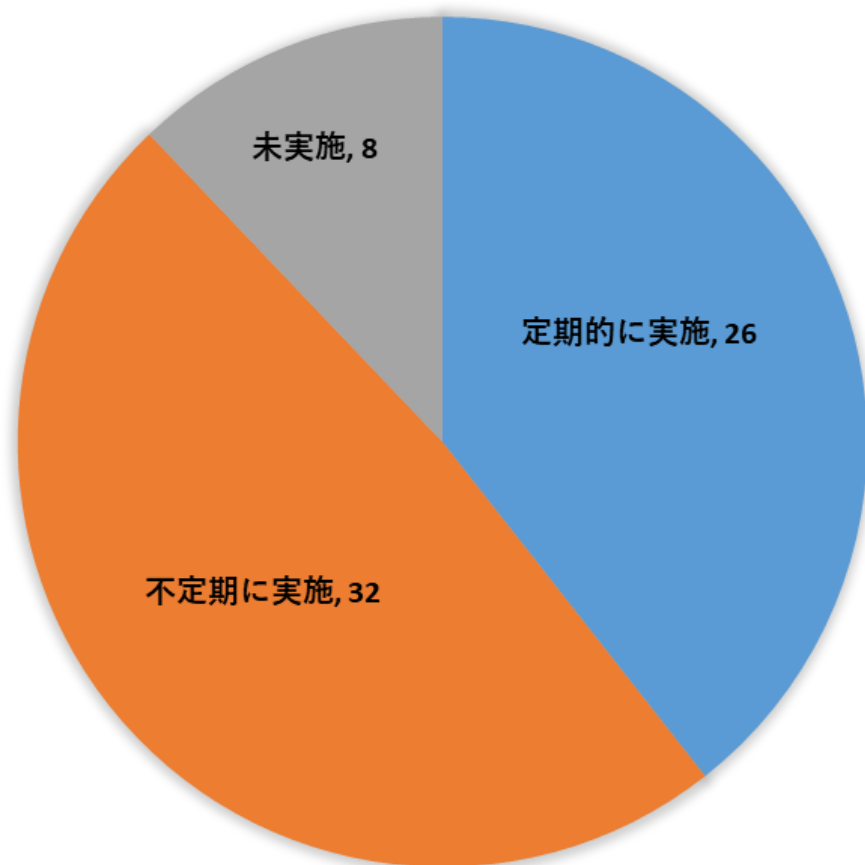


(地区別内訳)

	ある	ない
広島	55	9
呉	30	7
尾道	32	15
三次	38	10
福山	30	17

【問 3】

社内ミーティング等において、事故事例の共有や事故防止策の話し合い等を行っていますか



(地区別内訳)

	定期的	不定期	未実施
広島	26	32	8
呉	16	22	2
尾道	9	33	8
三次	14	19	4
福山	3	8	3

※実施回数上位

定期的：月 1 回、四半期 1 回、半年 1 回

不定期：年 2 回～年 6 回

【問 4】

LPガス事故全般に対して有効だと考えられる防止策
(実際に行っている取組含む) を記入してください

- ①ソフト面（誤開放、不完全閉止、立ち消え、点火ミス 等）
- ②ハード面（ホースの劣化・焼損、消費設備の腐食劣化・経年劣化 等）
- ③他工事業者に起因する事故（埋設管の破損 等）

(防止策の記入があった件数)

	①	②	③
広島	51	50	43
呉	32	31	22
尾道	30	29	22
三次	30	31	24
福山	35	37	20
合計	178	178	131

主な防止策

【①ソフト面】

- ・一般消費者に対する継続的な周知活動の徹底（チラシ配布、定期点検時等における訪問時対話）
- ・高齢者に特化した周知（家族との連絡体制）
- ・事故事例の一般消費者への共有
- ・未使用二口ガス栓へのカバー取付、一口ガス栓への交換、警報機取付、LPWA導入による遠隔監視
- ・ダブルチェック、人材育成、指差し確認

【②ハード面】

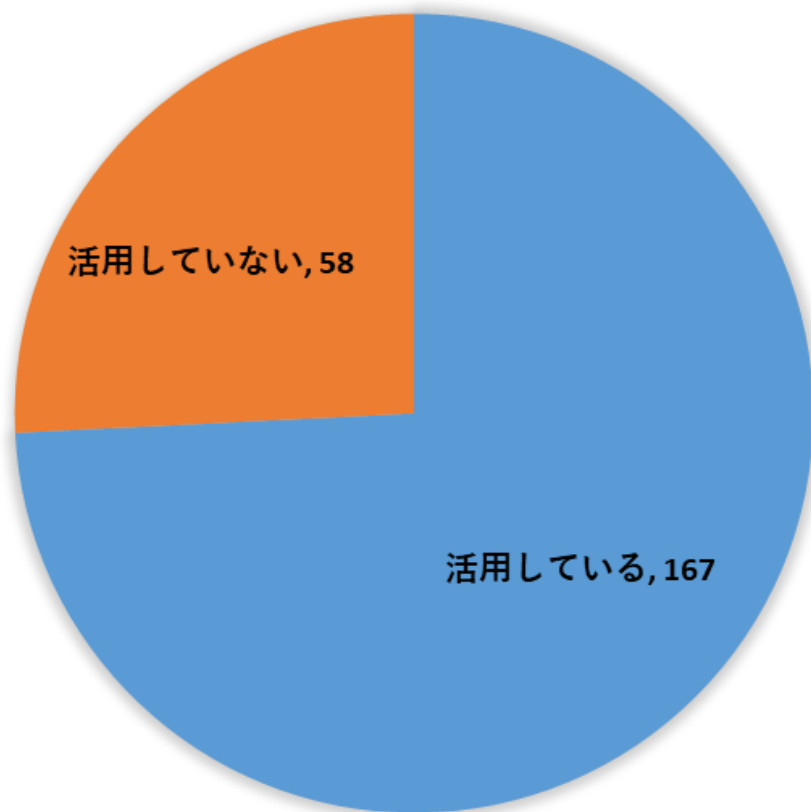
- ・期限管理の徹底、腐食劣化防止措置の実施、不使用ガス栓の撤去
- ・定期点検調査時等の訪問時に、目視確認の実施を徹底するとともに経年劣化した設備について交換の提案、周知
- ・経年埋設配管を露出配管に更新
- ・10年以上経過した機器を使用する一般消費者先へのDM等による周知
- ・使い方が簡単な器具への交換（高齢者向け器具が少ないのが難点）
- ・経年劣化による事故について、一般消費者への説明
- ・消費設備への費用面での援助（補助金）

【③他工事業者】

- ・埋設配管場所への立札や看板の設置、工事前打合せ、立会
- ・他工事業者への周知徹底（建設業等の講習、研修等でも周知）
- ・一般消費者、他工事業者及び管理会社から、販売店へ事前に連絡・相談が来る関係の構築
- ・一般消費者への継続した周知
- ・埋設管から露出配管への更新、新規は必ず露出配管

【問 5】

当課から令和7年6月11日付けで発出している「液化石油ガスの事故防止に係わるチラシの活用について（通知）」のチラシを活用されていますか



(地区別内訳)

	活用している	活用していない
広島	42	14
呉	26	14
尾道	31	14
三次	33	5
福山	35	11

※活用内容

- ・ 顧客への配布
- ・ 事業所内での掲示
- ・ ミーティング時の資料

【問 6】

事故防止の意識を向上させるために、今後、県にどのような取組みの実施を期待しますか

【問 7】

その他、事故防止に関して何かご意見があれば記入してください

(防止策の記入があった件数)

【問 6】

広島	37
呉	7
尾道	14
三次	21
福山	18
合計	97

【問 7】

広島	16
呉	2
尾道	4
三次	5
福山	3
合計	30

主な意見（問6）

- ・ デジタルコンテンツの整備
- ・ メディアを利用した啓発活動
- ・ 関係する工事業者への周知及び講習会（水道、工務店、建築等）
- ・ 講習会の充実（事故特化型講習会、講習会数の増加）
- ・ 事故事例の分かりやすいチラシ
- ・ 社内教育で使いやすい資料及び動画の提供
- ・ 文字だけでなく写真や映像を交えた説明（事故事例動画等）
- ・ ターゲットごとの啓発（一般消費者、関係業者）
- ・ 法改正による厳罰化

主な意見（問 7）

- 液化石油ガス設備や業務主任者講習など、オンラインではなく対面の方が習熟度が高いのではないか
- 物件の管理会社、不動産各業者（水道等）に年1回でも周知をガス会社からだけではなく、講習会などの受講を必須にすればと強く思う
- 事故は中々減少させるのは難しいとは思うが、地域に継続的に活動に取り組むことがたいせつだと考えている
- 事故があれば、その都度協会を通して教えて欲しい
- 繰り返しの意識付け